第3回（仮称）三軒屋公園等複合施設に係る市民説明会 結果概要

- 1 日 時 令和6年11月30日（土）午前10時～正午
- 2 場 所 東北コミュニティセンター 3階ホール
- 3 出席者 新座市長、総合政策部長、まちづくり未来部長、（仮称）三軒屋公園等複合施設整備推進室長、同室副室長、同室担当（1名） 計6名
- 4 参加者 43名
- 5 概 要

- ・ 配布資料に沿って、（仮称）三軒屋公園等複合施設基本計画見直し案について説明した。

配布資料については別添参照。以下はその後の意見及び質疑応答

（○：発言者、→：市の回答）

- 前回の市民説明会で、ほっとぷらぎにあった男女共同参画推進プラザの機能の復活について意見を述べたが、一切反映されていない。意見交換会においてもジェンダー平等の視点での委員が入っていないようだが、何故そのようなことになったのか。

→ 複合施設の整備に当たっては、コンセプトの方針4にあるように、可変性・柔軟性を持ち、長期的に利用される施設を前提に、各公民館やコミセン、ほっとぷらぎの諸室の利用率や他に代替機能があるかどうかを踏まえて検討を進めてきた結果、本素案のとおり整理したものである。その中で、男女共同参画推進プラザについては、ほっとぷらぎの閉館に当たり市役所本庁舎に機能を移していることから本複合施設には整備しないこととしている。

- 三軒屋公園の騒音等に悩まされていたが、今般の夜間閉鎖に伴い安寧な生活が送れるようになり感謝している。

複合施設の整備に当たり3点伺いたい。①夜間閉鎖は実施するか。②現状の三軒屋公園にはゴミ箱がなく、マンションの集積所に投棄して帰る者がいるが、ゴミ箱は設置するか。③DBO方式で整備・運営を行うと、行政にノウハウが蓄積されなくなってしまうのではないかと

→ ①② 公園については、原則はいつでも使用できるようにしたいと考えているが、状況によっては開園時間を設ける等の対応が必要となることも考えられる。いずれにしても、防犯対策やゴミ対策を含めた運営について

は、事業者が決定次第、総合的に検討していきたい。

③ 民間事業者の管理・運営によりサービスが向上することを期待しているが、行政のノウハウが欠落しないよう定期的なモニタリングを実施する等、行政としての役割を放棄せずに、市民・市・事業者で連携し、管理・運営の在り方を検討していきたい。

○ ①公園・広場のコンセプトを教えてほしい。②震災や停電等により屋上公園に往来するエレベーターが稼働しない場合どうするのか。

→ ① 1階の屋上公園については、図書室と一体化させ、くつろぎながら読書ができるスペースとしたい。2階の屋上公園については、例えば遊具を設置する等し、こども達が遊べるスペースとしたい。地上の公園・広場については、利用勝手が悪くならないよう、設置物等を置かず、多用途に利用できるオープンなスペースとしたい。

② 屋上公園への往来については、エレベーターのほか避難経路も兼ねた外階段の設置を考えている。

○ 東北コミセンは利用者が多い。諸室が足りるか心配である。また、高齢者にも配慮した施設としてほしい。

○ 図書室の面積が約400㎡となっている。各機能の面積の取扱の“約”、“以上”とはどういった意味か。また、複合施設の具体的な間取りが分からないのでイメージが湧かない。DBO方式で進めるとのことだが、民間の利益が優先され、非正規の雇用が増えることにより、市民サービスの低下を招くことが心配である。

→ “約”は、おおむねこの程度確保してほしい面積という意味で、“以上”は最低確保してほしい面積という意味である。間取りについては、事業者により良い提案をしてもらい決めていきたい。その中で、例えば、図書室と共用スペースとを一体的に整備することで、図書室としては若干面積が減ったとしても結果的に共用スペースも含めて広く使うことができるという間取りも可能となる、といった提案を期待したい。

○ 市民の意見を聴かずに事業者に丸投げで事業を進めているのではないか。複合施設整備後の管理・運営について、費用だけでなく内容も大事である。講座等、どのように開催していくのか。

→ 意見募集や市民説明会、意見交換会等を実施し、随時市民の皆さまの声

を聴きながら事業を進めてきた。今後、基本計画見直し案に対するパブリック・コメント手続に準じた意見募集も行う予定である。

管理・運営については、例えば、市民会館は指定管理による管理・運営を行っているが、事業者のノウハウをいかして自主事業等を行っている。課題については、都度、市民・市・事業者で対話し、より良い管理・運営となるようにしていきたい。

男女共同参画推進プラザについては、ほっとぷらぎの閉館に当たり市役所本庁舎に機能を移しているが、イベント等で複合施設を利用したい場合は、ぜひ利用していただきたい。

- 暫定図書館の設置を検討して欲しい。複合施設に設置する図書室には司書を配置し、公設公営としてほしい。
- DBO方式について心配な点はあるが、児童センターやふるさと新座館のように指定管理者の運営によってサービスが向上している施設もある。
若い人も安心して利用できるよう、市民の声を聴きながら事業を進めてほしい。
- 日本人の読書離れが懸念されている。図書室はこどもの居場所としても意義のある機能であるので、きちんとした図書室の整備をお願いしたい。
- 男女共同参画プラザは設置しないということだが、相談できる場所は各地域にあったほうがいい。①複合施設への導入を想定している機能について、現在の多くのサークル活動の受け皿としては足りないように思われる。多目的室は間仕切り等ではなく、もっと部屋数を確保してほしい。この案は利用状況等を踏まえて検討した結果か。②各機能の面積の取扱の“約”とは、おおむねといった意味か。③民間事業者による管理・運営について、どのようにモニタリングするのか。
→ ①意見交換会において、各公民館・コミセン、ほっとぷらぎの利用状況を共有するとともに、何十年後を見据えた複合施設の整備という点も踏まえて議論した結果である。
②おおむね、という意味である。
③具体的にはこれから検討していくが、随時、市民・市・事業者で対話をしていきたいと考えている。

- ほっとぷらざがなくなり、子どもが本を読む場所がなくなった。そのような中、東北コミセンの職員と話し合い、東北コミセンのロビーにリサイクル本を設置したり、読み聞かせを行ったりすることができ、市との対話の大切さを実感した。複合施設がより良い施設となるよう、市民と市が一体となって考えていく必要がある。事業完了まで、引き続き参画できるところは参画し、見届けていきたい。

- 全国的に出生率が下がっており、人口減少、少子化が社会問題となっている。また、志木駅周辺には子育て支援センターがないという状況が続いていた。そのような中、基本計画見直し案に子育て支援センターの設置が位置付けられたことを嬉しく思う。子育て世代の孤立化が懸念されている中、本センターは、親同士のつながりやサポートの場として大きな意義がある。本センターを設置することが、新座市が子育てしやすいまちになることにつながると感じている。

- ①東北コミセンは生涯学習の場、市民活動の場として重要な場である。今後、複合施設での講座の開催等、どのように考えているか。②男女共同参画プラザの機能は市役所に移転し、活動したいのであれば施設を借りて行ってほしいということだが、市は男女共同参画施策をどのように推進しようとしているのかが分からない。
→ ①市として講座等を企画していくとともに、事業者による事業の提案も期待している。講座等の実施に当たっては、志木駅周辺エリアにふさわしい講座が何かといったニーズを捉えつつ、市全体での公民館講座との整合性も図りながら事業者とも協議していきたい。図書室運営についても、本エリアに求められる蔵書やデジタルブックの導入等、中央図書館とも連携して検討していきたい。いずれにしても、地域に根差した魅力的な講座の開催等を検討していきたい。

以上